

ZIPC
S P L M

ZIPC
Feature

ZIPC
CASE Tool for Embedded Systems

高品質を導く。



影響範囲を明確にし、多品種向け
ソフトウェア開発の効率と品質を向上させる。

課題

- ▶ 製品バリエーションが多くて設計の管理が複雑になり、品質を維持することが困難
- ▶ 仕様や設計の変更の影響が複雑で分析に手間取り、派生製品の開発効率が上がらない

解決

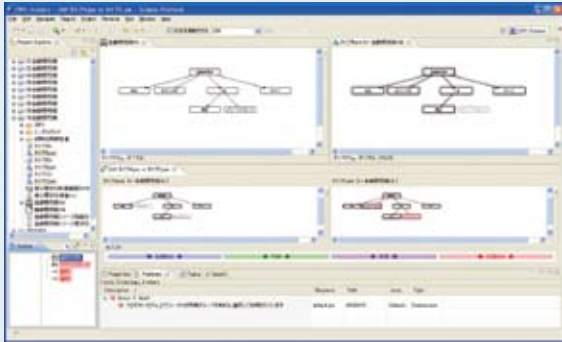
- ▶ 製品バリエーションに対応したトレーサビリティで設計の管理を容易にし、高品質を維持する
- ▶ 影響範囲検索機能で見直し範囲を特定し、派生製品の開発効率を上げる



ZIPC SPLMとZIPC Featureで 多品種向けソフトウェアの品質を向上させる。

ZIPC Feature

ZIPC Featureは、開発・再利用計画における変動性分析を行うツールです。簡単な操作でフィーチャ図を作成できます。



フィーチャモデル / プロダクトモデル

ZIPC SPLM

ZIPC SPLMは、多品種開発における成果物間のトレーサビリティを管理するデータベース・ツールです。各種設計ツールの設計情報を直接登録できます。



要件・設計間カバレッジ確認、影響分析
設計ツールとの相互参照

ZIPC SPLMで対応関係のモレ・ヌケをレビュー 仕様や設計の変更の影響をチェック

導入メリット

▶ 確実な対応付けで品質UP!

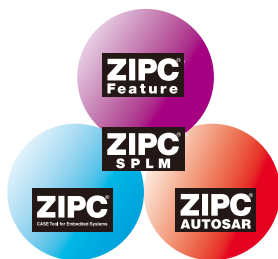
成果物間の完全な対応付けを確保することにより、上流工程の設計情報を漏れなく引き継ぐことができ、品質向上に大きく貢献します。

▶ 「トレーサビリティ」は、近年注目を集めている「機能安全」の要件でもあります。

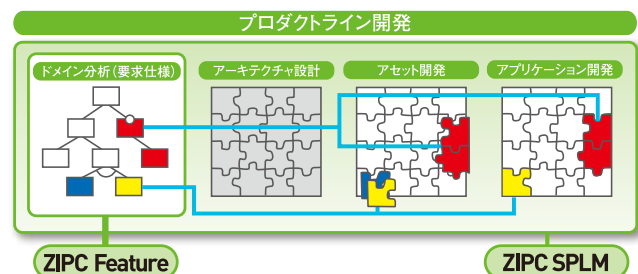
▶ すべてのドキュメントを一括管理!

膨大な設計資産の管理は煩雑になりがちです。ZIPC SPLMはどのようなファイルでも扱えますので、様々な現場でのレビューや影響分析にお使いいただけます。

➔ 設計ツールとの組み合わせでさらに使いやすく!



ZIPC SPLMはZIPCやZIPC Feature、ZIPC AUTOSARと連携します。各ツール上からZIPC SPLMへ直接アクセスできるので、モデルを見ながら対応関係や影響範囲などを調べることができます。



詳しくはWebで! <http://www.zipc.com/guide/products.html>

ZIPC

検索

お問い合わせ先

Communication
Art
Technology
Systems

キャッツ株式会社
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-11-5 川浅ビル
TEL: 045-473-2816 FAX: 045-473-2673
<http://www.zipc.com/> email: info@zipc.com

●本資料の内容は、予告なしに変更する場合があります。●本資料に記載された社名、製品名は各社の商標または登録商標です。